

高校世界史プリント（過去問類似）

二つの世界大戦 No.6

名前

得点

/10

問1 1920年代から1930年代のイタリアにおいて、言論や思想の統制を進め、国産衣服の生産を奨励する「モード公社」を設立するなど、国家主導の経済・文化統制を行ったファシスト党の指導者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ムッソリーニ 2. ヒトラー 3. フランコ 4. サラザール

問2 第一次世界大戦後に成立したトルコ共和国において、近代化と世俗化（政教分離）を進めるために実施された改革のうち、文字改革としてそれまでのアラビア文字に代わって新たに採用された文字は何か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. キリル文字 2. ラテン文字 3. ソグド文字 4. アラム文字

問3 1929年に開催されたインド国民会議のラホール大会において、イギリスからの完全独立を目指して採択された決議（スローガン）を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. スワラージ 2. スワデーシ 3. サティアグラハ 4. プールナ=スワラージ

問4 第一次世界大戦の敗戦国であったドイツが、1926年に国際連盟への加盟を認められる直接の契機となった、ラインラントの非武装化の維持などを定めた1925年の条約は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ロカルノ条約 2. ラバッコ条約 3. ロンドン条約 4. セーヴル条約

問5 19世紀末から20世紀初頭にかけて、中国（清）では列強の進出に対する抵抗運動が激化した。山東省で発生し、「扶清滅洋」をスローガンに掲げて北京の外国公使館を包囲したものの、日本を含む8カ国連合軍によって鎮圧され、清朝に多額の賠償金を課す北京議定書（辛丑和約）の締結に至った出来事は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 義和団事件 2. 仇教運動 3. 太平天国の乱 4. 三元里事件

問6 第一次世界大戦後のアメリカ合衆国では、保守主義や排他主義的な風潮が高まり、WASP（白人・アングロサクソン・プロテスタント）中心の社会秩序を維持しようとする動きが強まった。この時期、南欧や東欧からの移民流入を厳しく制限するために、国籍別の割当制度を導入し、さらにアジアからの移民を事実上全面的に禁止することとなった、1924年に制定された法律は何か。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 1882年の移民法 2. 1965年の移民法 3. 1924年の移民法 4. 1917年の移民法

問7 1917年のロシア革命によってソヴィエト政権が誕生すると、資本主義諸国は社会主義の波及を恐れ、政権の打倒や自国の権益確保を目指して共同の軍事介入を行った。このうち、日本やアメリカなどがチェコスロヴァキア兵の救出を名目に共同で軍隊を派遣し、日本が1922年まで駐留を継続した軍事行動を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 山東出兵 2. シベリア出兵 3. 青島出兵 4. 北樺太出兵

問8 1922年にソヴィエト連邦が成立した。この出来事よりも後に発生した、資本主義諸国に深刻な打撃を与え、ブロック経済圏の形成やファシズムの台頭を招く契機となった世界規模の経済混乱を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 戦後恐慌 2. 世界恐慌 3. 昭和恐慌 4. 金融恐慌

問9 第一次世界大戦後のパリ講和会議において、日本の二十一カ条要求の撤廃や山東省の権益返還が認められなかったことを契機として、1919年に北京の学生から始まり、中国全土に広がった反帝国主義・反日の愛国運動は何か。なお、この運動は日本の関東大震災よりも前に発生している。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 三・一運動 2. 非協力運動 3. 五・四運動 4. 新文化運動

問10 第二次世界大戦期、ナチス政権下のドイツは極端な人種主義に基づき、占領下のヨーロッパ各地で特定の民族やマイノリティに対する組織的な強制収容や大量虐殺を行った。この迫害政策によって、移動型民族であるロマや、数百万人にのぼるユダヤ人らが犠牲となった。この一連の組織的大量虐殺や迫害政策を何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ホロコースト 2. ポグロム 3. ゲルニカ 4. カティン

答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 1 ムツソリーニ	第一次世界大戦後の混乱期にファシスト党を率いて政権を握ったムツソリーニは、一党独裁体制を確立した。彼の政権下では、経済の自給自足（アウタルキー）やナショナリズムが推進され、衣服分野においても国産品を奨励するモード公社が設立されるなど、徹底した国家統制が行われた。
問2	答え 2 ラテン文字	トルコ共和国では、イスラーム世界からの脱却と西欧化・近代化を推進するため、1928年に文字改革が行われた。それまで使用されていたアラビア文字が廃止され、トルコ語の音声を表記するのに適したローマ字（ラテン文字）が導入された。これにより識字率の向上が図られた。
問3	答え 4 プールナ＝スワラージ	1929年のラホール大会において、若手のネルーを議長とするインド国民会議は、従来の自治（スワラージ）にとどまらず、完全独立を意味する方針を決議した。これを受けて、翌1930年から第2次非暴力・不服従運動（塩の行進など）が開始された。
問4	答え 1 ロカルノ条約	第一次世界大戦後のドイツは、敗戦国であったため1920年の国際連盟発足当初は加盟を認められなかった。しかし、1925年に西欧の安全保障を相互に規定するロカルノ条約が締結されたことで国際的緊張が緩和し、翌1926年にドイツの国際連盟加盟と常任理事国入りが実現した。
問5	答え 1 義和団事件	19世紀末、キリスト教の布教や列強の勢力伸長に反対する人々が山東省を中心に蜂起し、「扶清滅洋」（清を助け、西洋を滅ぼす）を唱えて勢力を拡大した。この運動は清朝の保守派（西太后ら）の支持を得て北京に進出し、外国公使館を包囲したが、日本やイギリス、ロシアなどの8カ国連合軍によって鎮圧された。翌1901年に締結された北京議定書により、清は巨額の賠償金や北京への外国軍隊駐留権を認めることとなり、半植民地化がさらに進んだ。
問6	答え 3 1924年の移民法	第一次世界大戦後のアメリカ合衆国では、孤立主義や保守主義、さらには社会主義への警戒感から、排他的なナショナリズムが高まった。1924年に制定された移民法（いわゆる排日移民法）では、1890年の国勢調査を基準として国籍別の移民割当を厳しく制限し、さらに「帰化不能外国人」の移民を禁止したため、日本人をはじめとするアジア系移民の流入が事実上全面的に禁止された。この法律は、アメリカの排他的な国内世論を反映したものであった。
問7	答え 2 シベリア出兵	ロシア革命の勃発に伴い、社会主義政権の打倒や東部戦線の維持、自国の権益確保などを目指した資本主義列強は、対ソ干渉戦争と呼ばれる共同の軍事介入を行った。その一環として、日本やアメリカはチェコスロヴァキア軍の救出を口実にシベリアへ出兵した。他国が撤退した後も日本は駐留を続け、国内外からの批判や米騒動の引き金となるなど、日本の政治・社会にも大きな影響を与えた。
問8	答え 2 世界恐慌	ソヴィエト連邦は1922年に成立した。これに対し、アメリカの株価暴落を端緒とする世界恐慌が発生したのは1929年であり、ソ連成立後の出来事として正しい。なお、南アフリカ戦争（1899年）、青年トルコ革命（1908年）、三・一独立運動（1919年）は、いずれもソ連成立前の出来事である。
問9	答え 3 五・四運動	第一次世界大戦後の1919年、パリ講和会議で中国側の主権回復要求（山東省の旧ドイツ権益返還など）が拒絶されたことを契機に、北京の学生から始まった反帝国主義・反日愛国運動である。この運動は、1923年に発生した日本の関東大震災よりも数年前に起こった出来事である。
問10	答え 1 ホロコースト	ナチス・ドイツは、アーリア人の優位性を主張する人種主義に基づき、ユダヤ人やロマ、障害者などを組織的に迫害・虐殺した。アウシュヴィッツをはじめとする強制収容所が各地に建設され、組織的な大量虐殺が実行された。これは単なる戦争の犠牲ではなく、国家権力による計画的かつ組織的な人道に対する罪であった。